

# 事業計画書 (記入例)

補助金の交付を受けようとする事業(2事業以内)のみ記入して下さい。

事業名	説明
事業A	事業内容(くわしく記入してください)
日常的な活動 (〇〇や△△の練習と自主演奏会)	〇〇の設立趣意や規約に基づき、毎週の定期練習と自主演奏会を主な事業として位置付けている。 ・定期練習では、△△の基礎練習や□□の練習を行うが、会員の実態に合わせた個人練習やパート・セクション練習などを適宜位置付け、指導者の適切な指導・助言のもとに個人や団全体の演奏の向上に努めている。 ・また、自主演奏会を行うことは、活動の発表の場であるとともに、会員の目的意識の向上を高めることにつながるため、毎年実施している。
予定期日	事業をすることによって得られる効果
・週2回の練習 ・自主演奏会 ①定期演奏会×月××日 ②コンサート△月△△日	サークルの目的である「〜〜」のための活動を実施することによって、地域の芸術文化の振興に貢献することができる。 また、会員や観客の多くが青少年であることから、青少年の健全育成の側面からもこの事業の効果は大きいといえる
	補助金を受けようとする理由
	サークルの主な収入は会費であるが、自主演奏会のための経費については臨時に会費を徴収しなくては開催できない状況にある。さらに、楽器購入費用や楽譜の整備などにかかる費用が不足気味であり、補助金が必要である。
事業B	事業内容(くわしく記入してください)
ボランティア活動 (老人ホームへの訪問演奏)	日ごろ練習している成果が、地域の高齢者の方のお役に立てば、ということで、●●年以降、毎年、高齢者施設〇〇園を年2回訪問して演奏会を実施している。お年寄りの心とふれあう感動的な演奏を提供することを目的とする。
予定期日	事業をすることによって得られる効果
①■月■日 ②▽月▽日	会員への効果として、ボランティア活動の意義を理解することによって、練習や発表への意欲が向上することが期待される。 また、演奏を聴いてくださる方々には、演奏を通して感動を共有していただき、素敵な時間を過ごしていただいている。
	補助金を受けようとする理由
	訪問演奏などを通して、演奏のレパートリーを充実させていくためには、多くの楽曲の楽譜などが必要である。また、訪問の際に必要な消耗品類などにも多くの経費が必要なことから、補助金の交付をお願いしたい。